

小山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	地域設計 I	
科目基礎情報							
科目番号	0011			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	複合工学専攻（建築学コース）			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	大島 隆一						
到達目標							
1.地域・地区の分析方法を説明できる 2.地域・地区の分析を通じ、必要機能とデザインの整合性等を含め、まちづくりの観点から設計ができる。 3.地域特性を加味した居住スタイル等と形態を提案できる 4.自身の提案を、図面等のプレゼンテーションによつて的確に表現できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	地域・地区の分析方法を明確に説明できる			地域・地区の分析方法を説明できる		地域・地区の分析方法を説明できない	
評価項目2	地域・地区の分析を通じ、必要機能とデザインの整合性等を含め、まちづくりの観点から設計が明確にできる			地域・地区の分析を通じ、必要機能とデザインの整合性等を含め、まちづくりの観点から設計ができる		地域・地区の分析を通じ、必要機能とデザインの整合性等を含め、まちづくりの観点から設計ができない	
評価項目3	地域特性を加味した居住スタイル等と形態を明確に提案できる			地域特性を加味した居住スタイル等と形態を提案できる		地域特性を加味した居住スタイル等と形態を提案できない	
評価項目4	自身の提案を、図面等のプレゼンテーションによつて的確に表現できる			自身の提案を、図面等のプレゼンテーションによつて表現できる		自身の提案を、図面等のプレゼンテーションによつて表現できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ② JABEE (B)							
教育方法等							
概要	地域・地区の分析を行い、町について学び、まちづくりに必要な観点を養い、地域特性からの提案を行う。 この科目は学修単位科目のため、自学自習として発表資料作成のための調査・資料作成を行うものとする。						
授業の進め方・方法	町の分析と分析結果の発表から、提案に対するエスキスチェックを行う。提案による図面作成等のを演習として行う。 自学自習する内容は、下記の授業計画の授業内容・方法において、＜ ＞内の項目である。						
注意点	小山市を基本題材とするが、その特定の町におけるターゲットとするテーマは、年によって変更予定である（例えば、空き家について、改修について、施設活用について など）						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	課題説明、地域統計資料・地域ガイド資料講義 ＜文献・現地調査＞			市街地について説明できる。文献や現地から、その町の問題点や環境対策と景観形成について説明できる。	
		2週	課題(地域)に対する実態講義 ＜文献・現地調査＞			市街地について説明できる。文献や現地から、その町の問題点や環境対策と景観形成について説明できる。	
		3週	文献・現地調査の図化 ＜発表資料の作成＞			市街地について説明できる。文献や現地から、その町の問題点や環境対策と景観形成について説明できる。	
		4週	文献・現地調査の発表（地域施設状況書） ＜基本企画提案検討・事例調査＞			市街地について説明できる。文献や現地から、その町の問題点や環境対策と景観形成について説明できる。	
		5週	基本企画実習・敷地コンセプトの決定 ＜基本企画提案作成＞			計画の立案ができる。	
		6週	提案個別エスキスチェック ＜基本企画提案作成＞			計画の立案ができる。	
		7週	基本企画発表（地域施設提案書） ＜基本設計提案検討＞			計画提案書がでくる。	
		8週	基本設計 エスキスチェック（配置図・平面図） ＜基本設計提案エスキス＞			動線について説明できる。ゾーニングについて説明できる。	
	4thQ	9週	エスキスチェック（平面細部） ＜基本設計提案エスキス＞			与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	
		10週	エスキスチェック（平面細部） ＜基本設計提案エスキス＞			与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	
		11週	エスキスチェック（平立断） ＜基本設計提案エスキス＞			与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などが描ける。	
		12週	エスキスチェック（平立断） ＜基本設計提案エスキス＞			与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などが描ける。	
		13週	エスキスチェック（細部） ＜基本設計提案エスキス＞			敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる	
		14週	エスキスチェック（細部） ＜基本設計提案エスキス・発表資料作成＞			敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる	
		15週	発表・講評会（地域施設基本設計書） ＜発表資料作成＞			講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	建築計画・設計の手法一般について説明できる。	5	後5
			設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	5	後15
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	5	後15
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	5	後15
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	5	後15
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	5	後15
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	5	後15
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	5	後15
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	5	後15
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	5	後15
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	5	後7
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	5	後7
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	5	後9,後10,後11
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	5	後15
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	5	後12,後15

評価割合

	試験	発表	提出物(状況書)	提出物(提案書)	提出物(設計書:計画性・建築物・プレゼン)	合計
総合評価割合	0	0	10	20	70	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	10	20	70	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0